



方解石



方解石 三角柱状の結晶が集まっている。
(所蔵：玄武洞ミュージアム)

方解石は、アユイが結晶格子の考え方を発見した鉱物です。天然に産出する方解石の結晶は、結晶が成長するときの環境により様々な形の方解石ができますが、割ったときには、全て決まった形にきれいに割れます。純粋な方解石は無色透明の結晶ですが、不純物が混じることで様々な色のついた方解石があります。



黄鉄鉱



黄鉄鉱 六面体型の結晶
(所蔵：玄武洞ミュージアム)

黄鉄鉱は、鉄の硫化物の結晶です。金色の光沢が美しいだけでなく、結晶の形が分かりやすい標本が多くあり、知名度の高い鉱物です。五角形は自然界にある形の中では比較的珍しいため、取り上げられることが多い五角十二面体型の結晶をはじめ、六面体型、八面体型などの結晶の形が有名です。



黄鉄鉱 五角十二面体型の結晶
(所蔵：京都大学総合博物館)



水晶

石英の結晶のうち大きなものを水晶と呼びます。水晶の結晶は、六角柱の両端に六角錐すいがくっついたような独特の形をしています。純粋な水晶は無色透明の結晶ですが、不純物が混じることで様々な色のついた水晶ができます。特に鉄イオンが含まれることで紫色になった水晶は紫水晶と呼ばれ有名です。紫水晶やそれ以外の色のついた水晶も、不純物は全体から見ればごくわずかで、結晶の大部分は無色の水晶と同じ二酸化ケイ素の結晶ですので、結晶の形も無色の水晶と同じ形になります。



水晶 六角柱状の水晶独特の結晶の形が良く分かる。(所蔵：京都大学総合博物館)



紫水晶 鮮やかな紫色が美しい。
(所蔵：玄武洞ミュージアム)



さまざまな鉱物

鉱物は、その鉱物種ごとに、結晶の形や色に独自の性質を持っています。今回の企画展「鉱物の魅力」では、結晶の形が分かりやすい標本を集めました。さまざまな鉱物の結晶を観察して、アユイが感じたような鉱物・結晶の不思議さ面白さを感じ取ってください。



蛍石 六面体型結晶
不純物により紫色に着色している。
(所蔵：京都大学総合博物館)



大阪市文化財協会

江戸時代の人々に愛されたちん 狎 - 梅田墓の土人形 -

古代に大陸からもたらされた狎は、江戸時代になると大名や富裕層が座敷で飼う抱き犬として品種改良が進み、明治時代にかけて庶民にも広く愛されました。江戸時代の大阪に造られた共同墓地の一つ梅田墓では幕末から明治初期にかけての土葬・火葬にともない500点以上の土人形が出土しました。うち約1割が狎のモチーフでした。写真の土人形は京都伏見産で、彩色はほぼ落ちていますが、狎単独の座像・立像や玉に足をかけた姿、狎を抱く童子像があります。垂れ耳に丸い目、くると巻いた尻尾、首輪と吉祥の布飾りをつけた姿は、当時の人々を和ませた狎の特徴をよく表しています。 大阪市文化財協会 学芸員 小田木富慈美

今回紹介した資料は、9月7日(水)～11月14日(月)、大阪歴史博物館で開催の特集展示「なにわの考古学2022」にて展示します。開館時間/9:30から17:00まで(特別展会期中の金曜日は午後8時まで)※入館は閉館の30分前まで。休館日/火曜日(祝日の場合は翌日)最新情報はホームページにてご確認ください。

住所 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-6-41 TEL 06-6943-6833 FAX 06-6920-2272

ホームページ 大阪市文化財協会: <https://www.occpa.or.jp/> 大阪歴史博物館: <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

アクセス 大阪歴史博物館: ●Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口 ●大阪シティバス「馬場町」バス停前



狎をモチーフとした土人形

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

大阪歴史博物館 大阪城天守閣 大阪市立自然史博物館 大阪市立美術館 大阪市立東洋陶磁美術館

大阪市文化財協会 大阪市立科学館 天王寺動物園 大阪中之島美術館 大阪くらしの今昔館